

利用成果報告書

1 課題番号 R6-D14

2 報告者 岩川 外史郎 東京大学医学部附属病院

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 網膜変性疾患モデルの樹立、変性機構の解明、新規治療法確立に向けた基盤研究

5 使用装置名 FACS Aria III セルソーター
共焦点顕微鏡 SP8、LMD

6 利用期間 令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日

7 利用成果・実績の概要 共焦点顕微鏡を用いて、網膜血管系の表層、中層、深層における血管内皮細胞や終日細胞、マイクログリア細胞の観察を行い、それぞれのモデルマウスにおける挙動の変化や、薬物投与により影響を捉えることができた。FACS AriaIIIを利用してモデルマウスの網膜における各種細胞の分取を行い、RT-qPCRによる遺伝子発現解析などを行なった。

8 社会・経済への波及効果 網膜疾患の分子メカニズムの解明に寄与し、治療法の確立につながることが期待される。

9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
NMNAT1 Is Essential for Human iPS Cell Differentiation to the Retinal Lineage.	Kuribayashi H, Iwagawa T, Murakami A, Kawamura T, Suzuki Y, Watanabe S.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	2024 Oct	国外
The mechanism of multistep progression of the transcriptional cascade in activated microglia as approached by a proteome approach.	Saita K, Iida T, Takai Y, Aihara M, Uchida K, Iwagawa T, Kawamura T, Watanabe S.	Cytokine.	2024 Aug	国外